

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第5部門第3区分  
 【発行日】令和7年3月31日(2025.3.31)

【公開番号】特開2023-157739(P2023-157739A)  
 【公開日】令和5年10月26日(2023.10.26)  
 【年通号数】公開公報(特許)2023-202  
 【出願番号】特願2022-67828(P2022-67828)  
 【国際特許分類】

F 2 5 D 17/08(2006.01)  
 A 2 3 B 2/82(2025.01)  
 A 2 3 B 2/80(2025.01)  
 A 2 3 B 7/04(2006.01)

10

【F I】

F 2 5 D 17/08 3 0 8  
 A 2 3 L 3/365  
 A 2 3 L 3/36 A  
 A 2 3 B 7/04

【手続補正書】

20

【提出日】令和7年3月21日(2025.3.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

生鮮食品を収納する収納領域と、  
 前記収納領域に収納された生鮮食品を冷却する冷却機構と、  
 前記収納領域に収納された生鮮食品の表面温度を測定する温度センサと、  
 前記温度センサの測定温度に基づき、前記冷却機構を制御する制御部と、  
 を備え、

30

前記制御部は前記冷却機構を制御して、

はじめに、緩慢冷凍により前記生鮮食品に含まれる水分を過冷却状態にし、

前記温度センサの測定温度が上昇に転じたとき、緩慢冷凍から急速冷凍に切り替え、

前記温度センサの測定温度が通常冷凍温度に達したとき、前記温度センサの測定温度が前記通常冷凍温度で保たれるように制御することを特徴とする冷蔵庫。

【請求項2】

前記収納領域は、冷凍室内に配置された筐体に覆われており、

40

前記冷却機構は、

蒸発器と、第1ファンと、前記第1ファンの風力で前記蒸発器を通過した気体が開口を介して前記冷凍室内に流入するための冷却流路と、

前記収納領域と前記冷却流路とを連通させる急冷用流路と、

前記急冷用流路の開閉を行う開閉部と、を備え、

前記開閉部により前記急冷用流路が閉のとき、前記筐体の周囲の気体による冷却で前記収納領域内の生鮮食品が緩慢冷凍され、

前記開閉部により前記急冷用流路が開のとき、前記蒸発器を通過した気体が前記急冷用流路を介して前記収納領域内に流入し、前記収納領域内の生鮮食品が急速冷凍されることを特徴とする請求項1に記載の冷蔵庫。

50

## 【請求項 3】

第 2 ファンを更に備え、

前記開閉部により前記急冷用流路が開のとき、前記第 1 ファンの風力に加えて、前記急冷用流路内に配置された前記第 2 ファンの風力により、前記蒸発器を通過した気体が前記収納領域内に流入することを特徴とする請求項 2 に記載の冷蔵庫。

## 【請求項 4】

緩慢冷凍による前記温度センサの測定温度の降下量は  $0.01$  / min 以下であることを特徴とする請求項 1 から 3 の何れか 1 項に記載の冷蔵庫。

## 【請求項 5】

急速冷凍において、前記温度センサの測定温度は  $-5$  以上  $-1$  以下の範囲内にある時間が 30 分以内であることを特徴とする請求項 1 から 3 の何れか 1 項に記載の冷蔵庫。 10

20

30

40

50